

はばたき

～不登校児童生徒の学びのサポートガイド～
Vol.1



はじめに

不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」ことのみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえ、社会的に自立していくことを目指す必要があります。

また、児童生徒によっては、不登校の時期が、休養や自分を見つめ直す等の機会となる場合がある一方で、学業の遅れ、進路選択上の不利益、社会的な自立へのリスク等を生じさせる可能性があることにも留意する必要があります。

長野県教育委員会では、国の動向を勘案した上で、「不登校未然防止および不登校児童生徒への支援のための行動指針」(平成30年3月)(以下、「行動指針」)を策定するとともに、教育現場においては、子どもたちの社会的な自立を支援するために「不登校への対応の手引き」(令和3年改訂版)に基づく対応を行っているところです。

このたび、不登校児童生徒に向き合う大人(家庭、学校、地域、民間施設など)が共通認識を持ちながら支援していくためのガイドとして、「はばたき～不登校児童生徒の学びのサポートガイド～」(vol.1)を作成しました。不登校児童生徒への支援のさらなる充実を図っていくためにご活用ください。

- 1 不登校に対する理解 p1
- 2 支援の基本的な理念 p1
- 3 不登校児童生徒数及び学校外での支援の状況 p2
- 4 多様な学びの機会を保障する仕組みの事例 p3
- 5 不登校児童生徒の多様な学びに対する学校の支援 p6
- 6 支援に関する情報等 p9



しあわせ信州

長野県・長野県教育委員会

令和3年度

はばたき

～不登校児童生徒の学びのサポートガイド～
Vol.2



はじめに

長野県・長野県教育委員会では、「不登校は問題行動ではない」ことを改めて関係者の間で確認・共有し、不登校児童生徒に向き合う大人(家庭、学校、地域、民間施設など)が共通認識を持ちながら支援のさらなる充実を図っていくためのガイドとして、「はばたき～不登校児童生徒の学びのサポートガイド～」(vol.1)を作成しました。

全ての子どもたちが「自分らしく学び、自分らしく生きる」ことができるよう、大人が共働して多様な学びの機会を保障し、個に応じた学びを実現していく必要があります。

このたび、不登校児童生徒の多様な学びのあり方に焦点を当て、支援者同士の情報共有や連携をさらに推進していくために、「はばたき～不登校児童生徒の学びのサポートガイド～」(Vol.2)を作成しました。

本サポートガイドを活用することを通して、子どもの学びの現在地について、児童生徒や保護者とコミュニケーションをとることで、子どもの学習意欲に応え、社会的自立に向けた多様な学びの支援が充実していくことを願っています。

～みんなの声～ p1

- 1 学校外での学びの現状 p2
- 2 学習評価のしくみ p4
- 3 不登校児童生徒の学びに対する支援と評価 p5
- 4 支援情報等 p11



しあわせ信州

長野県・長野県教育委員会

令和4年度

子ども・保護者と学校・市町村を結ぶきっかけづくりのための コミュニケーションシート

子どもが学校へ行かなくなったときに、在籍する学校とやりとりをする上で「どんなことを相談したらいいのか」「どんなことをお願いできるのか」といった不安の声や「欠席の連絡を毎日学校にしなくてはいけないのが苦しい」「給食費や教材費などの徴収を止めてもらうようお願いできない」といったお困りの声が、保護者から聞かれることがあります。

一方、学校からも「教育支援センターやフリースクールなど外部機関を紹介することにより、子どもや保護者が学校から見放されたと感じてしまうのではないか」といった声があり、保護者と学校関係者とのコミュニケーションの難しさが指摘されています。

本シートは、これまで保護者が学校に対して電話連絡や支援会議などでお伝えいただいていたことの中で、学校との情報共有が必要となる場合・場面がある項目を整理し、子どもの育ちや学びにとって、よりよい方向性を確認していくきっかけとなることを目的として作成しました。

本シートを学校・市町村とコミュニケーションをとる対話の場面で活用していただくことを期待しています。

——— 不登校児童生徒等の学びの継続支援に関する懇談会 ———

令和5年度